

無料

歯周病リスク検診のご案内

皆様方の健康管理のお手伝いとして、自宅でできる歯周病リスク検診を実施いたします。
成人の多くが歯周疾患にかかっているといわれますが、歯周病を早期に発見し治療することは、
口内の健康はもちろん糖尿病や生活習慣病の改善につながります。ぜひこの機会にご受診ください。
* 歯周病リスクについては裏面をご覧ください。



検査は簡単！
自宅で唾液を採取して送るだけ！
検査結果も自宅に届きます。



唾液中の（血液反応）ヘモグロビンを測定し、歯周病のリスクをabcで判定します。

判定	a 異常なし	b 要指導	c 要精査	単位
Hb測定値	0 ~ 1.99	2.00 ~ 4.19	4.20 ~	μg/mL

1. 検診対象者 被保険者及び被扶養者
2. 検査費用 健康保険組合が全額負担いたします。
3. 申込方法 **WEB** 右QRコードまたは下記アドレスよりお申込みください。
<https://f.msgs.jp/n/form/taq/TKkrCzDHxZcURMR4JS4mk>
4. 申込締切日 **2027年2月20日(土)必着 ※ただし定員に達し次第、受付を終了いたします。**
5. 検査器具の送付 申込書到着後、検査機関より約2週間でご自宅へ送付いたします。
6. 検体締切日 **2027年3月20日(土)までに、検体と問診票を同封の返送用封筒でご返送ください。**
7. 結果のお知らせ 検体到着後、約2週間でご自宅に送付いたします。
8. 検査機関 メスブ細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号)
TEL:075-231-2230 (平日 10:00~16:00) FAX:075-211-7400



<申込QRコード>

検査の流れ

申し込む

自宅に
器具が届く

自宅で
検体採取

返送する

結果が
自宅に届く

結果がb・c判定の方は
歯科医をご受診ください。
a判定の方も定期的に歯科医で
検診をご受診ください。

※個人情報の取扱いについて

受診する方の個人情報は本検診を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾を得ず第三者に提供・開示することはありません。
なお、当健康保険組合は、検査機関より受診者の検診結果について一括して報告を受け、保健指導および当検診の総括に利用します。

歯周病チェック!!

症状にチェックが入った方はぜひ検診を受けてください。

- | | |
|---|---|
| ☐ 歯茎の色が赤い | ☐ 歯と歯の間にすき間ができています |
| ☐ 歯磨きの最中に出血しやすい | ☐ 歯茎から膿がでる |
| ☐ 冷たいものが歯にしみる | ☐ 不規則な生活を送っている |
| ☐ 起床時に口のなかがネバネバする | ☐ 口臭がある |
| ☐ 歯茎が腫れることがある | ☐ 歯がグラグラする |
| ☐ 歯茎が下がって歯が長くなってきた気がする | |

痛くない! 怖くない!
歯周病検査です!



【注意事項】・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要指導・要精査」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診ください。
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

歯周病は万病のもと

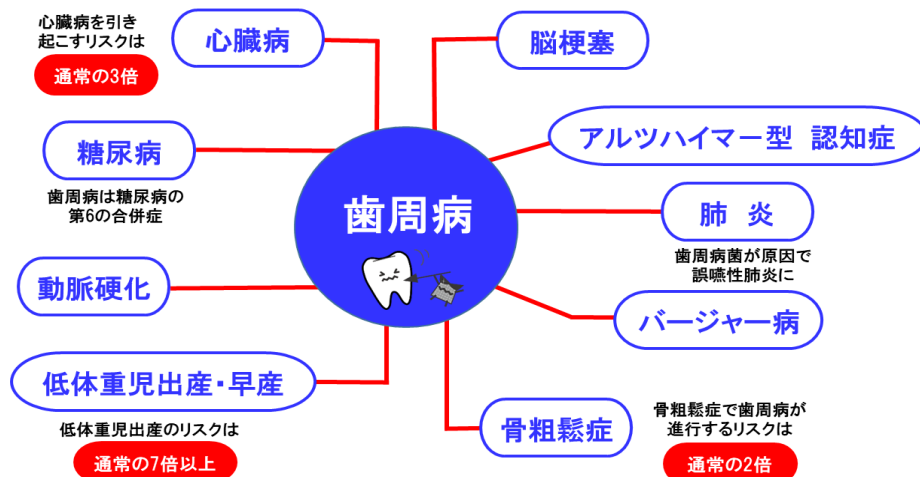
感染症予防のためにも
口腔ケアを



なぜ、いま歯周病リスクが重要視されるのか？

歯周病は様々な病気を引き起こします。

歯周病はせいぜい歯茎から血が出る程度の、軽い病気と思いませんか？
口内環境と全身の健康は密接に関連しています。
歯周病菌が作る毒素が血液に入ること、様々な病気をひきおこしたり、悪化させたりします。
歯周病を予防することで様々な疾病のリスクを抑制することができるのです。



出血で歯周病が悪化？

歯磨きをしているときや、何もしていない時でも歯茎から血が出ることはありませんか？

歯周病菌は赤血球ヘモグロビンの“ヘミン鉄”が大好きです。

鉄分を得て歯周病菌は爆発的に増殖します。

歯茎からの出血は要注意なのです！！

歯周病菌には
赤血球ヘモグロビンの
ヘミン鉄が必須栄養素

出血すると
ヘミン鉄の周囲で
歯周病菌が増殖

歯周病が
発症。悪化する

出血！出血！
大好物の
ヘミン鉄だ！



～歯科医受診のきっかけに～

- ◆ 歯科医へは、痛みが強くなるまで行かないことが多い
→ 治療が長引く！、最終的には骨が溶けて歯が抜ける場合も・・
- ◆ 早期に発見、治療するためには、まず歯科医を受診することが大切！
- ◆ 歯科医受診のきっかけとして、痛くない、怖くない、自宅でできる唾液検査で口腔内をチェック
→ 唾液を採取して送るだけ！